

小学生向け金融教育授業プログラムを、4月から全国で応募開始

～お金に込められた“想い”を、小学校の授業で学ぶプログラム「お金ってなに？」を共同開発～

ジブラルタ生命保険株式会社(代表取締役社長:佐藤恵、以下 ジブラルタ生命)、国立大学法人東京学芸大学(学長:村松泰子、以下 東京学芸大学)および特定非営利法人東京学芸大こども未来研究所(理事長:松田恵示、以下 こども未来研究所)は、産学連携の取り組みとしてこの度、小学生向け授業プログラム「お金ってなに？」を共同開発し、2013年4月より全国の小学校に向けて展開します。

(1) 開発背景

近年、教育現場においては、民間企業が有する「知」が、出張授業等の形で活用され、子どもたちの「生きる力」の育成を目指した様々な取り組みが行われています。こうした取り組みは、子どもたちにとって貴重な経験となっている一方で、「一過性の情報」として受け止められる場合もあるという課題がありました。

ジブラルタ生命、東京学芸大学、こども未来研究所は、それぞれが有する知識やノウハウを活かすとともに、開発段階から現役教職員の協力を仰ぎ、模擬授業を繰り返し実施しながら、より実践的に子どもたちの「生きる力」を育成する授業プログラムの共同研究を2年間にわたり行ってまいりました。

その結果、実際に授業で使用される学校や子どもたちの状況・歩調にあわせながら、全国どの小学校でも開催可能な授業プログラム「お金ってなに？」が完成し、2013年4月より全国の小学校に向けて展開することとなりました。

(2) 授業の概要

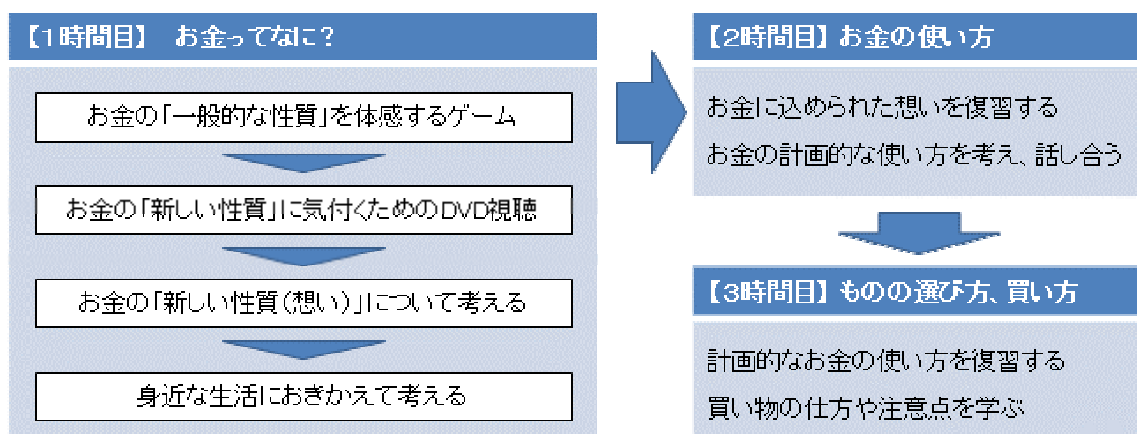
子どもたちが“お金に込められた想い”を理解し、計画的な使い方を学ぶことで、「生きる力」を育成します。3単元で構成される最初の1時間目の授業を、ジブラルタ生命社員が実施します。

教科 ; 家庭科 “身近な消費生活と環境”

対象 ; 小学5年生 ※小学校中学年～中学生にも対応

時間 ; 45分の授業を計3時間で構成 ※最初の1時間目を、ジブラルタ生命の社員が実施

教具 ; ゲーム、テキスト、DVD ※教具については、無償提供



(3) 応募方法

同授業プログラムは、以下の方法で全国へ案内・告知されます。授業開催ご希望の場合は、応募チラシに必要事項を記載の上、事務局までお送りください。

募集開始日 ; 2013年4月1日(月)より

募集方法 ; ① 東京学芸大学およびこども未来研究所より、全国の教育委員会等へ案内・告知
② ジブラルタ生命より、全国各地の小学校へ募集チラシを配布

応募方法 ; 上述の方法により案内に送付される「応募チラシ」に必要事項を記載の上、事務局へ送付

※開催ご希望の際は、上述の方法にて送付される「応募チラシ」でご応募いただくか、または、下記に記載する問い合わせ先(「お金って何？」事務局)宛てにメール等にてご連絡ください。

(4) 先行実施された小学校での授業の様子(東京都・麻布小学校)

2013年2月21日(木)、東京都港区立麻布小学校で小学5年生を対象に、小学校授業プログラム「お金ってなに？」が先行実施されました。ジブラルタ生命の社員が“お金の先生”となり、45分間の授業を実施。「物々交換ゲーム」やDVD視聴を通じて、お金の込められた想いを楽しく学びました。



麻布小学校で行われた授業の様子。子どもたちも夢中でゲームに参加



授業で使用するテキスト

以上

【開催ご希望に関するお問い合わせ先】

ジブラルタ生命保険株式会社 「お金ってなに？」事務局 (担当; 平野・江原)

Mail; Yasuhiko.Hirano@gib-life.co.jp / Takashi.Ehara@gib-life.co.jp